

# 東京教習所協会 初の受付対応コン

東京指定自動車教習所協会（武士裕三会長）はこのほど、はじめての試みとなる受付対応コンテストを開催した。少子高齢化で運転免許取得人口が年々減少する中、教習所の「顔」である受付業務と若年人口の減少の中で年々減少を続けており、1998年の167万人が2006年には132万人にとどまっています。こうした中で指定教習所業界は認知度向上と社会的地位向上に取り組んでおり、全国指定自動車教習所協会連合会では指定教習所制度を導入した道路交通法の公布日の（1960年）6月25日を「むじこ」とか

ち抜いた10人がロールプレーに臨み、笑顔と明るい声で審査員や同じ業務に携わる聴衆者から盛んな拍手を受けていた。

普通免許取得者数は少子化と若年人口の減少の中で年々減少を続けており、1998年の167万人が2006年には132万人にとどまっています。こうした中で指定教習所業界は認知度向上と社会的地位向上に取り組んでおり、全国指定自動車教習所協会連合会では指定教習所制度を導入した道路交通法の公布日の（1960年）6月25日を「むじこ」とか

## 対コンテスト

東京指定自動車教習所協会



笑顔と身ぶりでわかりやすく説明

笑顔と身ぶりでわかりやすく説明

指定自動車教習所協会連合会では指定教習所制度を導入した道路交通法の公布日の（1960年）6月25日を「むじこ」とか

## 接客意識とスキル向上へ

## 聴衆含め学びあう場に

「指定教習所の日」に制定した。これに呼応して東京の協会では6月21日にエコードライビングストラクター講習会と学科教習コンクールを開催している。

受付対応コンテストもこう

「指定教習所の日」に制定した取り組みの一環。コンテストに先立ち、受付担当者を対象に筆記テストの形で「自己診断テスト」を実施した。52会員の420人が受検、この中から優秀成績だった10人が選ばれ、コンテストに参加した。

競技のロールプレイングの設定は、「30代の専業主婦が子どもの送迎のため免許を取ろうと、教習所を訪れた。料金やシステム、AT限定免許、育児書の有無など

サーの伊藤佳子さんが招かれた。また会場には会員教習所でも同様に参加業務を担当する女性らが多数訪れ、評価シートを持ってそれぞれ審査するとともに、同じ仲間としていい

ンサーも「上手下手でなく、相手にこころを届けることが大切。学ぶものがたくさんあった」と感想を述べた。武士会長は「交通事故の大半は広い意味での思いやりややさしさの欠如に起因する。しかし19歳の若者にやさしさ、思いやりを伝えるのは至難の業。最大の方法は身をもって示すことであり、不安な気持ちで教習所を訪れ最初に会話する受付がどれだけやさしさを持っているかが大事という気がする」と感想を述べるとともに激励した。

# 優しさと思いやりを伝えよう

を説明するとともに、さまざまな質問に答える、というも一人当たり7分の時間が与えられ、元気で感じの良いあいさつや明るい笑顔、アイコンタクトの有無、声の大きさ・言葉遣い、プロとしての適切なアドバイス、双方向コミュニケーション、といった観点から評価された。

審査の結果、優勝したのは東急自動車学校の松原佳奈さん。分かりやすい説明や相手との質問を聞きながら応える態度などが評価された。

審査の結果、優勝したのは東急自動車学校の松原佳奈さん。分かりやすい説明や相手との質問を聞きながら応える態度などが評価された。

京王プラザホテルの城所さん、「ホテルも同じカウンターの業務で同じ目線で審査した。全員心に暖かいものを持っており、共感を覚えた」と評価。文化放送の伊藤アナウ



第1回 受付対応コンテスト

競技が終わり、ホットとした表情の参加者

「指定教習所の日」に制定した取り組みの一環。コンテストに先立ち、受付担当者を対象に筆記テストの形で「自己診断テスト」を実施した。52会員の420人が受検、この中から優秀成績だった10人が選ばれ、コンテストに参加した。

文化放送の伊藤アナウ